

令和5年度第1回 釜石市男女共同参画推進協議会開催結果

1. 日 時 令和5年8月10日（金） 14:00～15:30
2. 場 所 第4庁舎3階 教育委員会会議室
3. 出席者等 <出席委員9人>
赤崎幸子委員、市川淳子委員、浦嶋博幸委員、小菅篤仁委員、千葉悟委員、
万城目千佳代委員、八幡亘委員、山崎詔子委員、山本理悦子委員
<市側出席者>
市長 野田 武則
総務企画部長 中村 達也
総合政策課男女共同参画室室長 菊池 美幸
総合政策課男女共同参画室室長補佐 正木 佳恵
総合政策課男女共同参画室主任 猪又 孔太
4. 経過・結果 市長から委員へ委嘱状交付を行い、委員が順番に自己紹介をした。
市長挨拶後、会長及び副会長の選任を行い、会長に万城目千佳代氏に、副会長
を市川淳子氏に決定した。
その後、下記の議事について質疑応答、意見交換を行った。
5. 結 果
 1. 開 会
 2. 市長挨拶
 3. 議 題
 - (1) 令和4年度男女共同参画事業実施状況調査結果について
 - (2) 次期男女共同参画計画の市民意識調査結果について
 - (3) 次期男女共同参画計画の基本理念、基本目標及び施策の方向について
 4. その他
 5. 閉 会

主な発言は以下のとおり。

- (1) 令和4年度男女共同参画事業実施地状況調査報告について
【山本委員】岩手県立釜石病院助産師による出前授業の開催について、今現在、釜石病院に助産師は常駐しているのか。
【事務局】常駐している。
- (2) 次期男女共同参画計画の市民意識調査結果について
【万城目会長】男性の育児休暇について、釜石市での取得した人について情報はあるか。
【事務局】市役所の中でということであれば、数名だが取得者はいる。女性が取得するような長期間の取得ではない。市内全域での取得状況については把握していない。
【万城目会長】アンケート結果で出産の時は一旦仕事を辞めて、再就職すればいいという意見もあったが、そういう考え方だと、皆さん出産できないのでは。釜石市は大きな企業より小さい個人経営の企業が多いと思う。小さい企業では事務で働いていた方が出産のために休暇を取ると、その事務の方に一旦辞めてもらって、新しい人を採用するような形を続けていると思う。そこを何とかできないかということが課題と感じた。
また、意見の中にペーパーレスでのアンケート調査をお願いしたいとの意見があった。ペーパーレスと併用できるような方法があればいいと思う。
- (3) 次期男女共同参画計画の基本理念、基本目標及び施策の方向について
【赤崎委員】小委員会についてだが、先ほどのアンケート調査の分析については、各課にフィードバックされているのか。それに基づいての事業・計画策定という流れになっているのか。
【事務局】アンケートの結果は小委員会においても本日と同じように説明を行い、それを踏まえて

各課のほうで事業を検討していただくようお願いしている。

- 【八幡委員】 社会福祉協議会でも、市の方から各審議会に女性の委員を推薦してください、といった話がある。数値等では示せないところではあるが、これまで実際に女性を委員に登用してきたことで何か変わったことはあるか。岩手県で一番女性委員の比率が高いという部分で、すごくいいことだと思うが、私達も推薦している側として、審議会に女性を多く登用したことで良くなったことなどがあれば、感想等でもいいので教えていただきたい。
- 【事務局】 男性とは違う視点があるといったことを期待している部分もあり女性登用を進めているが、一方では実際、女性も男性も同じ方に委員をお願いしている傾向があり、そういった課題もあると感じている。
- 【事務局】 女性の登用は、女性も参加しなければならないという思いを持つにことにもなるので大事な取り組みと思っている。数字では出せないものだが、担当者レベルでの感想は聞いてみて、後日お知らせしていきたいと思う。
- 【万城目会長】 LGBTに関するアンケートについて「幼少期からの教育が教育の充実」が大事との結果が出ていたが、いつも子供に多く触れている浦嶋委員から何かご意見があれば伺いたい。
- 【浦嶋委員】 少し議題自体がはっきりしていないと感じている。資料が多く、何に対して質問すればいいのかと思っている。
- 【万城目会長】 質問じゃなくても、男女の社会参画に関して、常日頃子供達に伝えていることでもあればお話しいただきたい。
- 【浦嶋委員】 国家レベルの話だと、男女の社会参画は1985年位から推進しているものだと思うが、これまでの取り組みで国家レベルではある程度達成できているものはあるかもしれないが、それが地方できていないということは、それなりに条約的な、そこまでいかなくても目標みたいなものを掲げていく必要はあると思う。それによって女性が社会参画できるといったことを明確に示さない限りは特に浸透していくものではないと思う。
- 【万城目会長】 浸透させるには、社会から女性への周知する何かがないと、ということ。
- 【浦嶋委員】 良識を持っている経営者なり、現状ではその方達がそういう考えだから世の中の動きがこうなっているという上下的な部分に頼っているだけなので、それはある程度明確に示していかないと具体的な目標は達成できないと思う。3、40年前に掲げたような理想的な部分を最初はやり始めたのだろうけど、抜本的な問題はそこだと思う。
- 【小菅委員】 初めて参加したので、状況を伺ってからと思って聞いていた。浦嶋さんの仰っていた話で、初めて参加して思ったのは事務局の皆さんは我々に何を求めているのか、正直ぼやけている印象がある。我々の役割は、そもそもこれを聞いて、細かいところを直してほしいのか、そもそも論を考え直してほしいのか、その辺りがぼやけていると感じるのが一つと、コンサル的な進め方で言うと、アンケートを取りました、そこで問題点が出ました、その問題点を改善するための阻害要因があると思う。その抽出みたいなものがあるって、その阻害要因に対して打ち手を打ってます、みたいな形かなと思う。僕がこれを見ている限りだと多分打ち手の部分は啓蒙活動はやっていて、皆さんどこもそういう感じかと思うが、もう一つが阻害要因として啓蒙活動の他の部分の、そもそも仕組みが問題、みたいなところがあるのではと思う。例えば今具体的な例を言うと、委員の選出もどういったプロセスを経て我々が選ばれているのか、もしかしてそこにも問題があるのかと。それを同じことやってるから毎回同じとこしか頼まないで何も変わらないとなれば、そもそも委員選出のプロセスが問題じゃないか、と。その問題点、阻害要因を列挙とか整理していただくと、我々もそれに対して、こういう打ち手があるんじゃない、とか、こういうアクション起こせるんじゃない、とか。多様な方がいらっしゃるんで、それぞれの視点で出せるのではないかなという全体的な印象を受けた。そもそも全体の作り方が、各課ができる事、各課から意見を出して。といったプロセスを踏んでいる印象があるので、考え方の起点が違うのではと、初めて参加して、この膨大な資料とまとめ方を見てそう感じたところが一番の印象。
- 【事務局】 実際、委員を選定するのは、市長も冒頭の挨拶の中で申し上げていたが、充て職がどうしても多くて、市長もそのところを根本的に変えなきゃいけないのではないかとこのころもあるが、市としても担当がお願いするときは、どうしても充て職といった系統の方々に頼むとお願いしやすいとこともあって、担当も毎回頭を悩ませているところ。今

回のように新しい委員さんに入っていただけると新しい意見も頂けるので、その辺りは委員の選定といったところからも自分達も変えていかないと、市の考え方も広めていけないというところもあり、その辺りはこれからの課題とも思っている。

【小菅委員】私も復興支援員時代に民間レベルだが地域で活躍している女性のグループを集めてワインセミナーというものをやった。ワインセミナーをやるのが目的ではなく、地域で活躍している女性を横つなぎにすることにより、女性が活躍できる場とか活動が広がるのではないかといったこと。その時に、地域で活躍しているという人達を聞きに行き、こういう事業をやっているとか、こういう活動をやっているとか、例えば甲子柿協議会とか。その辺りの状況も共有できればしたいと思う。多分その辺りは充て職ではない現場で動いている人達と思うので、その辺りの情報も役所として持ったほうがいいと思う。

【事務局】本日今年度第1回目の協議会ということで、資料の数が膨大でここで何を議論すればいいのかという話も最後に委員からいただいた。いずれ一つ一つの事業をどうのこうのということではなく、男女共同参画推進プランに対して釜石市がどんなことをできるかという事業を各課に照会している。それはそれで事務局で粛々と進めていくのだが、その中で、やっていくのはいいが、それが市民に行き渡っているのかというような、よく我々のご指摘を受ける行政のPR 下手で、さっき言いましたが目標値がある、じゃあその目標値が市民の皆さんが分かっているのか、そういったところを適宜示していかなくやないんだなという方向性が上手くできていないのもそのとおりに思う。そういったところを、委員の皆さんから、こんなの誰も分かってないよ、みんな一生懸命作っているけども、といった話とかこの委員会で話していただければいいのですが、実際このスケジュールを見ればこの委員会とて年に2回しか開催しないということで、じゃあどのように皆さんの意見を頂戴すればいいのか、といった話にはなると思う。それも我々でやり方を考えなくてはならないが、ただ今回この推進プランを改訂しなくてはならない大事な時期になっているということで、特に普段のお仕事等ある中でご苦勞を掛けてしまいますが、何かお気づきの点があれば随時事務局のほうにまた連絡いただければと勝手ながら思っている。その辺りも踏まえてご協力いただければということで、最後をお願いしたい。

プランというのは、いわゆる一つの社会の在り様というか、そういったものも示していかなければならないという面もあるので、先ほどの話と重複するがそういったところのPR をしながらプランを作っていかななくてはならない。「男女共同参画プラン」の名称もあえて「男女」とするのか、考えていく必要があるのではないと思って聞いていた。昨年行ったアンケート調査について、前回プラン作るときの計画と比較して多少ではあるけども、少数ではあるけども、若干はポイントも上昇している傾向もあるので、その辺りをまた改めて検証しながらプランに影響を与えていかなければならないと考えているところである。たくさん資料を本日お渡ししたが、お戻りになって目を通していただきながら、途中経過はどういうプランの進捗になっているのかお示ししながらまとめていきたいと考えているので、何卒協議会への協力をよろしくお願いしたい。

閉会 (15 : 30)